

戸開走行保護装置について

戸開走行保護装置とは、駆動装置及び制御器に故障が生じ、かごの停止位置が著しく移動した場合、又はかご及び昇降路のすべての出入口の戸が閉じる前に、かごが昇降した場合に、自動的にかごを制止する装置をいう。

具体的には、①2個の独立したブレーキ、②かごの移動を感知する装置（特定距離感知装置等）、③通常の制御回路とは独立した制御回路の3要件をすべて満たした装置をいう（建築基準法施行令第129条の10第3項第一号に適合）。

① 2個の独立したブレーキ

片方のブレーキが故障しても、もう片方のブレーキで安全にかごを制止・保持できる。

② かごの移動を感知する装置（特定距離感知装置等）

ドアの開閉状態を検出するかご戸・乗場戸スイッチに加え、かごが乗場から一定距離以上移動した場合に感知する特定距離感知装置を設けることにより、戸開走行を検出する。

③ 通常の制御回路とは独立した制御回路

通常制御プログラムが故障しても、安全にエレベーターを制御して停止させることができる。

①・②・③がそろったものを戸開走行保護装置として大臣認定している。

